

経営戦略コース

～自社ビジネスのあり方を見直し、
次の戦略を深く多面的に考えるリーダーの養成～



*経営戦略理論の習得
戦略形成力の体得
実践能力の向上*



開催期間 2018年5月下旬～翌年3月上旬:9か月間のべ37日間(合宿込み)

日 程 毎月3～4回 火曜日 18:20～20:50(他 合宿3回)

対 象 部長、課長クラス(全職種) 定員30名

会 場 経営アカデミー
(東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階)



公益財団法人 日本生産性本部

<https://k-academy.jp/>

●経営アカデミー ～50年以上の歴史、14,000名以上のOB・OGネットワーク～

●企業から選抜された中核人材が集う 真剣な他流試合の場●

経営アカデミーは、1965年に創設された我が国初の本格的なビジネススクールです。

- 業界を代表する企業をはじめ、多様な業種・業態の組織から選ばれた人材が参加。短期の研修では得ることが難しい業務上の悩みや課題を話し合える貴重な社外のネットワークを築くことができます。
- 多様な人材とのぶつかり合いから、自己の発想、価値観や仕事を通じて培ってきたビジネス観を振り返る絶好の機会となります。今までの延長線上にある自己を一度断ち切り、既存事業を変革し未来に挑戦する意欲と実行力を伸ばします。

●経営戦略コースの指導講師陣

●第一線のビジネスパーソンと学界を代表する一流の講師陣による指導体制●

コーディネーターはプログラム内容、研究内容に全体を通して広い視点からアドバイスを行います。グループ研究指導講師はファシリテーターとして毎回メンバーとの議論に参加し、新しい視点を提供していきます。

コース委員長

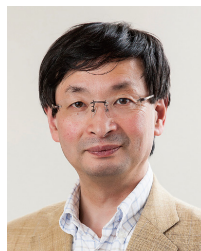


小野寺 正
KDDI 取締役会長

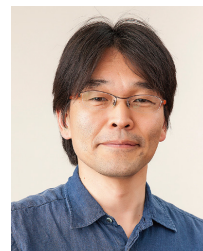
コーディネーター



榊原 清則
中央大学大学院 教授



大滝 精一
東北大学大学院 教授



網倉 久永
上智大学 教授

グループ研究指導講師



犬飼 知徳
中央大学大学院 准教授



大木 清弘
東京大学大学院 講師



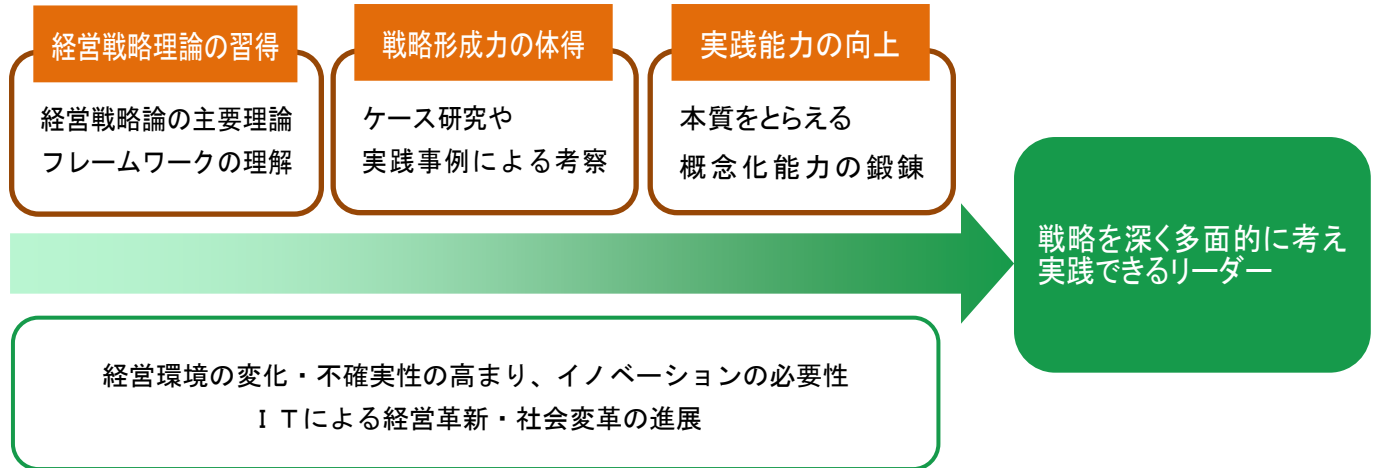
中川 功一
大阪大学大学院 准教授



三木 朋乃
中央大学 准教授

●経営戦略コースが目指すもの

- 自社ビジネスのあり方を見直し、次の戦略を深く多面的に考えるリーダーの養成●
経営戦略の理論習得にとどまらず、事業特性と競争環境を踏まえた戦略形成を
実務家と参加メンバーとともに考え、実践能力を高める



●本コースが目指す3つの力●

1. 現状分析・認識力	2. 課題抽出・形成力	3. 戦略構築・実践力
自社ビジネスが置かれている競争環境を適切に認識できる力を身につける	自社や担当事業における戦略策定と実行上の課題を明確に見出す力を身につける	利益を生み出すための戦略のあり方を考え、事業特性を踏まえた戦略実践・展開能力を高める

●派遣企業の本コースへの期待●

- 経営戦略を体系的に学ぶことにより実務においても活用できる知識の習得。および経営者的な視点により物事を俯瞰して捉えられるようにするとともに、異業種の方々との交流を通じて多様な考え方に触れ、柔軟な思考を身に付けること。
- 広く・高い視野を持ち当社や当社を取り巻く環境を客観的・的確に評価し、柔軟な考え方や手法を取り入れた経営戦略を構築・実践できるような人材の育成。
- 他業種の方との議論やコミュニケーションを通じ、業種の枠を超えた幅広い知見を身に付け、俯瞰的に物事を捉え、当社のビジネスを牽引していける的確な判断能力を備えた人材の育成。
- 派遣した人材が将来、社内のマネジメントとして上に立つ身になることを展望し、ゼネラルマネージャーとしての知識、人的ネットワーク、見識を広げるために、自らを開発するチャンスとすること。産業界の中での自らについて考え直す機会を持ち、組織へプラスとして還元すること。
- 経営者としての視野・視座・視点を持ち、自社の提供価値を高め、安定的かつ継続的に利益を創出させるビジネスモデルを確立させ、グループ内にも波及させることができるような人材の育成。

●プログラム構成

講義とグループ研究を並行して進めることで、体系的な学習と実務の往復を促し、自己課題フィードバックにより実践へと橋渡ししていきます。



●学界を代表する学識者と実務家による講師陣 （過去2年実績）

青島 矢一	一橋大学イノベーション研究センター 教授	佐々木 圭吾	東京理科大学大学院 教授
網倉 久永	上智大学 教授	妹尾 大	東京工業大学 教授
井上 達彦	早稲田大学 教授	武石 彰	京都大学大学院 教授
大滝 精一	東北大学大学院 教授	富山 和彦	経営共創基盤 CEO
小野寺 正	KDDI 取締役会長	中川 功一	大阪大学大学院 准教授
木村 尚敬	経営共創基盤 取締役	長瀬 勝彦	首都大学東京 教授
榊原 清則	中央大学大学院 教授	西野 和美	一橋大学大学院 准教授



●プログラム日程概要

講義やグループ研究は原則、火曜日【月2～3回】の18:20～20:50

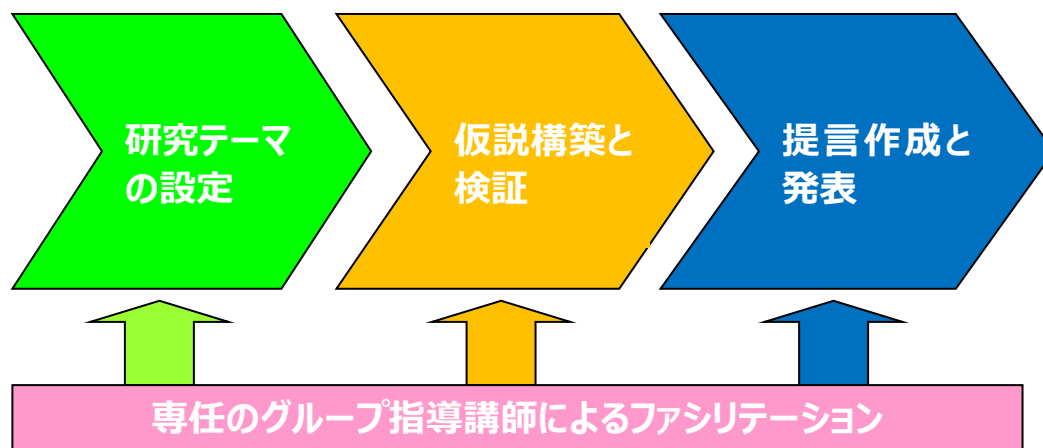
月	テーマ	講義・演習	グループ研究	自己課題
5月	経営戦略の全体像	■ 企業経営に経営戦略が必要な意味を、大局的・全体観の視点から理解する ー 経営戦略論の全体像		自己課題整理、コース修了後の目標設定
6月	経営戦略の基礎理論・分析手法	第1回合宿（1泊2日） ■ 仮説の設定と検証（グループ研究の進め方） ■ ケース研究	グループ研究【1】 【グループ編成】 【研究テーマ選定】	各講義の気づきと学びを整理
7月		■ 経営戦略論を構成する主要理論、フレームワークを実践的なケース研究をまじえて理解する ー 競争戦略論（業界の構造分析／差別化／コストリーダーシップ／顧客価値／競争ポジション／製品ライフサイクル） ー ビジネスモデル ー 全社戦略論（事業の定義／多角化／PPM） ー 資源戦略論（保有資源と組織能力構築／イノベーション／組織的知識創造プロセス） ー ケース研究	グループ研究【2】 問題意識の共有 研究計画・方針の確認	
8月		■ 日本企業における戦略の策定・展開についての現状、特質、課題を明らかにし、今後のあり方を検討する ー イノベーションと付加価値獲得の戦略 ー 製品の境界を超える／産業構造の転換への対応 ー 事業経済性を正しく理解する ー 経営幹部に求められる意思決定のプロセス	グループ研究【3-6】 文献調査、メンバー・グループ指導講師との徹底した議論	各講義の気づきと学びを整理
9月				中間振り返り
10月	日本企業の経営戦略の課題と今後の方向性	第2回合宿（2泊3日） ■ グループ中間発表	グループ研究【7-10】 【中間発表】	
11月	経営のダイナミズム	■ 日本企業のトップからリアルな実践論に触れる ー 経営実践事例 ー 事業再生の現場から見た経営戦略	グループ研究【11-15】 インタビュー・調査、仮説研究	各講義の気づきと学びを整理
12月				
1月	グループ研究テーマの掘り下げ	第3回合宿（1泊2日） ■ 調査の分析とまとめ ■ 総括講義	グループ研究【16-20】	
2月		■ 報告書とりまとめ、発表準備 【グループ研究成果発表】	グループ研究【21-26】	研修成果の振り返り
3月				
	フォローアップ	■ 研修後の取り組みに関する情報交換		
		■ 講義：18コマ＋選択講義＋フォローアップ	グループ研究：26コマ	

※講義とグループ研究の各コマ数は2017年度実績をもとに表示。
プログラムとスケジュールは変更される場合があります。

●他に例を見ない充実したグループ研究

◆一つのグループに一人、担当の指導講師がつき、専任でグループ研究をサポートします。

- 異なった視点をもったメンバーと協働で、一つのテーマについて研究を進めます。
- テーマ設定から仮説構築、検証、理論構築に至るまで、グループメンバー、指導講師と徹底した議論を戦わせる過程で、本質を見極め、新しいコンセプトを創造していく力が養われます。
- 仮説構築の重要性、切り口の大切さを再認識し、その手法を身につけます。



●最近のグループ研究テーマ

- 「差別化戦略再考～リーダー企業が陥る三層構造のジレンマ～」
「模倣できるがしたくない」差別化戦略のメカニズムを解明。
- 「ダイバーシティ経営～多様性がシナジーを生み出すマネジメント～」
価値創造につながるダイバーシティ経営、とりわけ女性活躍推進の課題と解決方法を考察。
- 「再検証 日本企業における組織のあるべき姿」
日本企業の行動規範のいずれの要因が企業の生産性に寄与しているのかを解明。
- 「日本企業に必要なイノベーション経営」
イノベーションを繰り返し起こすための仕掛けをどのようにデザインすべきかを探求。
- 「創発戦略のメカニズム解明」
ミドルマネージャーが主体となる創発戦略が機能する組織、メカニズムを解明。
- 「成長企業に見る『優れた戦略の採択と実行を阻害するもの』の克服方法」
優れた戦略を構想するとともに、その実行を阻害するものを克服した企業の研究。
- 「働く目的の分析に基づくハイパフォーマー育成への提言」
業績に貢献できる人材を育成するためのマネジメントのあり方を提案。
- 「新事業創出を成功に導くエフェクチュエーター」
企業家の思考・着想や意思決定プロセスを検証し、成功に導くために必要な構成要素を解明。

●参加者の声

「実践に活かせる講義やケーススタディ」（メーカー・部長）

経営戦略について学んだ経験が無かったが、講義で教えて頂いた経営戦略の各種理論は、自分の現在の業務で活かせるものであり、企業のケーススタディも自社の事業運営を考える上で非常に参考になった。また、経営者の講話は、企業人として今後の大きな糧を得たと感じた。グループ研究では、異業種の方と異なる視点で意見交換しながら論文をまとめ上げたが、多くの事象を整理して結論を導き出すという能力向上のトレーニングになった。

「全体を俯瞰して考える力を身につける」（金融・調査役）

目の前の仕事から離れ、モノゴトの考え方を改めて考え直すきっかけとなった。仕事の間では、どうしても目の前のミッションをどうする、という近視眼的な対応に偏ってしまうが、本プログラムに参加した結果、一步引いて全体を俯瞰し、そもそも起こっていることをどのように考えればよいのかを考えるくせがついた。

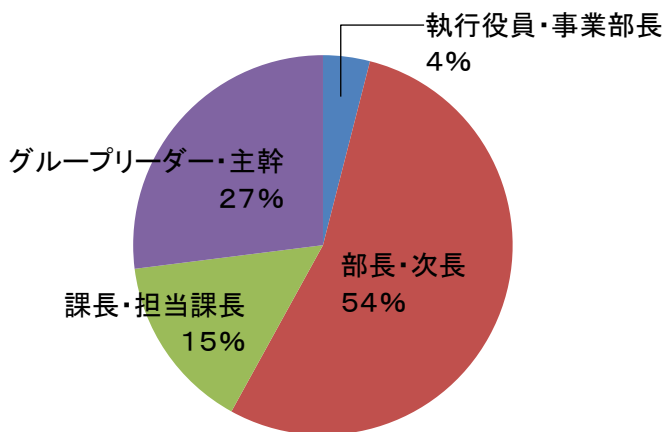
「企業経営の多くのケースを学ぶ」（メーカー・部長）

大学で経営学を学んでいない者にとっても、フレームワークなどの基礎からわかりやすく講義してもらえた。また、意思決定についてのテーマなど学問の範囲にとられない有用な内容の講義もあった。さらに、企業経営について1社にとどまらず多くのケースを経験しておられる方の講義は客観性も感じられ非常に有意義だった。

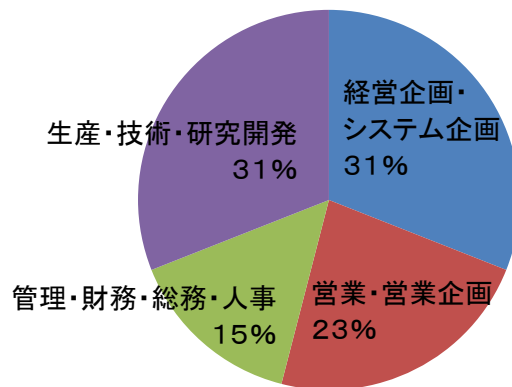
●参加者データ

参加者データ(2017年度) 全25名

< 役職別 >



< 職種別 >



[平均年齢44.7歳]

●近年の主な参加企業

NECディスプレイソリューションズ、エヌ・ティ・ティ都市開発ビルサービス、カスタマシステム、カンダホールディングス、キッコーマンソイフーズ、クラレ、埼玉りそな銀行、JXTGエネルギー、JXTGホールディングス、信金中央金庫、住友大阪セメント、太平洋セメント、高島屋、デイ・シー、東京センチュリー、戸田建設、鳥居薬品、日本水産、日本政策金融公庫、日本石油輸送、日本ポリエチレン、農林中央金庫、乃村工藝社、ノムラデュオ、播州信用金庫、日置電機、藤森工業、マースウインテック、マルハニチロ、みずほ銀行、みずほフィナンシャルグループ、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJニコス、りそな銀行 ほか(50音順)

経営アカデミー コース一覧

経営アカデミーとは、1965年に産業界の発意と学界の協力により創設されたわが国で最初の本格的な経営大学院です。当アカデミーを修了された方々は14,000名を超え、産業界のリーダーとして活躍しています。

●マネジメント・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費()内8%税込	
				賛助会員	一般
トップマネジメント・コース	2018年7月～12月	取締役、執行役員、事業部長、部長	戦略思考に基づいたビジョンを語り、先頭に立って実践できるトップリーダーの養成	115万円 (124.2万円)	125万円 (135万円)
				合宿費、海外調査費別	
事業構造変革コース	2018年6月～2019年1月	事業責任者、企画・監査部門の責任者、戦略スタッフ	事業構造変革に必要な取り組みを統合的にコーディネートし、経営トップをサポートできるリーダーの養成	122万円 (131.76万円)	132万円 (142.56万円)
				合宿費別	
経営戦略コース	2018年5月～2019年3月	部長、課長(全職種)	自社ビジネスのあり方を見直し、次の戦略を深く多面的に考えるリーダーの養成	106万円 (114.48万円)	116万円 (125.28万円)
				合宿費別	
技術経営コース	2018年5月～2019年2月	技術戦略、技術企画、研究所、製品開発担当(部長・課長・リーダー)	“技術”から事業価値を創出できるリーダーの養成	106万円 (114.48万円)	116万円 (125.28万円)
				合宿費別	
次世代グローバルリーダー総合コース	2018年6月～2019年1月	全職種のリーダー、スタッフ	広い視野を持って戦略を構想し、行動できる人材の養成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
				海外視察費1回含む、国内合宿費・海外他流試合(オプション)費別	
組織変革とリーダーシップコース	2018年6月～2019年2月	部・課・チームの組織運営を行うリーダー	人・組織・戦略の視点で組織変革を推進できるリーダーの養成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
				合宿費別	

●プロフェッショナル・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費()内8%税込	
				賛助会員	一般
マーケティング戦略コース	2018年5月～ 2019年3月	マーケティング、営業部門の部長、課長、リーダー、戦略スタッフ	先見性・革新性・戦略性で成熟市場を打ち破るマーケットの育成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
				合宿費別	
生産革新マネジメントコース	2018年6月～ 2019年2月	生産関連部門(製造、生産管理、品質、調達など)のリーダー、マネジャー	経営と現場の視点で、「強い工場」をつくる人材の養成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
				合宿費、海外調査費別	
人事革新コース	2018年5月～ 2019年2月	人事部・人材開発部門のマネジャー、リーダー、戦略スタッフ	人材マネジメントに革新を起こし、世界で競争力のある強い組織づくりをリードする戦略的人事リーダーの養成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
				合宿費、海外調査費別	
経営財務コース	2018年6月～ 2019年2月	財務、経理、ＩＲ、企画部門のマネジャー・専門スタッフ	企業価値の向上をリードする、将来のCFOの養成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
				合宿費別	

■国内合宿費 1回当たり 4～7万円（経営財務コースは合宿費のほかにビジネスゲーム使用料 1万円程度）

■海外調査費 トップマネジメント・コース 39万円程度、人事革新コース、生産革新マネジメントコース 30万円程度

※参加費に含まれないもの:丸の内教室通学・合宿・企業見学・インタビュー等の交通費、グループ研究の図書・資料代、その他、個別的・追加的に発生する費用

※参加費、その他費用は2018年度の予定金額

お申込み・お問い合わせ先



経営アカデミー
Academy of Management Development

公益財団法人日本生産性本部 経営アカデミー
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-2

新丸の内センタービル6階

TEL : 03-5221-8455 FAX : 03-5221-8479

mail:academy_info@jpc-net.jp

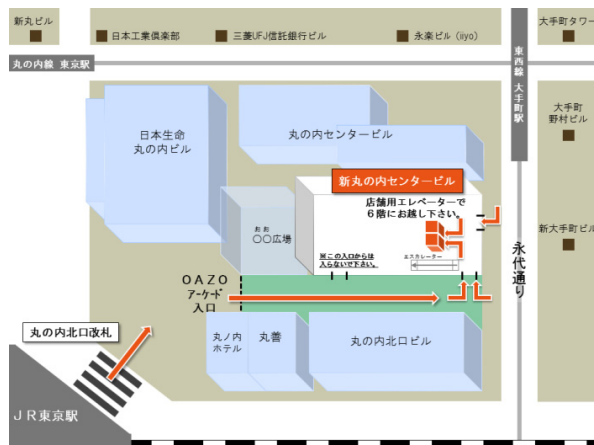
HP : <https://k-academy.jp/>

* 賛助会員制度につきましては、下記まで

お気軽にお問い合わせください。

会員サービスセンター TEL : 03-3409-1116

(2018年1月よりTEL:03-3511-4026)



東京駅丸の内北口より徒歩3分、地下鉄大手町駅B2b出口よりすぐ